

1年	科目	地理	講義	通年	担当	佐藤崇徳
全学科共通		Geography	必修	2履修単位		Takanori SATO
授業の概要						
本講義は、地表面に展開するさまざまな自然的・人文社会的事象を科学的にとらえ、その地域的特色を理解することによって、現代の国際社会に生きていく資質を養うことを目的とする。本講義では、自然地理学・人文地理学および地誌学に関するいくつかの事柄を取り上げて学習することを通して、地理的な見方・考え方を培っていく。授業では地図作業などの活動も適宜取り入れる。						
本校学習・教育目標(本科のみ)	○	目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢					
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
人文地理学(経済地理学ほか)の基礎的事項を理解し、それに関する問いに答えることができる。 自然地理学(地形学, 気候学)の基礎的事項を理解し、それに関する問いに答えることができる。 地誌的な地域のとらえ方を理解し、スイスおよびインドの事例に関して問いに答えることができる。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション	高専で学ぶ地理				
第2回	人文地理 — 産業	チューネンの農業立地論				
第3回	〃	現代における農業立地(1)				
第4回	〃	現代における農業立地(2)				
第5回	〃	ウェーバーの工業立地論				
第6回	〃	現代における工業立地(1)				
第7回	〃	現代における工業立地(2)				
前期中間試験						
第8回	自然地理 — 気候	気候のとらえ方				
第9回	〃	気温と降水量, 大気の大循環				
第10回	〃	気候の特徴をつかむ				
第11回	〃	世界の気候区分				
第12回	自然地理 — 地形(1)	地形のとらえ方, 世界の大地形とプレートテクトニクス				
第13回	〃	日本付近のプレートテクトニクス, 地震と火山				
第14回	〃	地形図から地形を読む				
第15回	〃	地形と土地利用景観, 勾配				
前期末試験						
第16回	自然地理 — 地形(2)	平野の地形を考える(1)				
第17回	〃	平野の地形を考える(2)				
第18回	〃	平野の地形を考える(3)				
第19回	〃	氷河性海面変動と地形発達				
第20回	〃	東京の地形を考える				
第21回	人文地理 — 文化	地域による文化の差異, 文化の伝播				
第22回	〃	民族, 多民族国家				
後期中間試験						
第23回	地誌	スイス地誌(1)				
第24回	〃	スイス地誌(2)				
第25回	〃	スイス地誌(3)				
第26回	〃	インド地誌(1)				
第27回	〃	インド地誌(2)				
第28回	〃	インド地誌(3)				
第29回	〃	インド地誌(4)				
学年末試験						
第30回		まとめ, 授業アンケート				
評価方法 と基準	定期試験 約80%, 課題(地図作業, レポート等) 約20%					
教科書等	「地理B」(東京書籍), 「高等地図帳」(二宮書店), 「データブック オブ ザ ワールド」(二宮書店), 1:25000地形図「三島」・「沼津」, このほか適宜プリントを配布する。					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					